



五十嵐会長



田中事務局長

11月22日(金)倉吉未来中心・小ホールに、女性19人を含む149人(代議員116人・特別代議員6人・執行部27人)の参加のもと「第21回定期大会」を開催し、2013年度活動・決算報告ならびに2014年度活動方針(案)、予算(案)を提案し、満場一致で承認されました。

また、本年は役員改選期でもあり、五十嵐会長・田中事務局長を中心とする新役員体制が確認されました。

あわせて、様々な生き方が実現できる男女平等参画社会をめざして提案した「連合鳥取第3次男女平等参画推進計画」についても確認され、新年度がスタートしました。



議長団 小松代議員(UAゼンセン) [左]
宇田川代議員(JP労組) [右]

来賓

ごあいさついただいた来賓 [写真上段左より]
木村裕士・連合副事務局長
岡村整路・鳥取県商工労働部部長
伊藤 保・民主党鳥取県総支部連合会代表(鳥取県議会議員)

新規加盟組織あいさつ

[写真左より]
◇電機連合・ジャパンディスプレイ労働組合鳥取支部
執行委員長 寛 憲之介さん
◇紙パ連合・ニッポン高度紙労働組合
執行委員長 吉村 康さんと副執行委員長 小松健大さん

議案討議の様子 — 発言された代議員 —

写真左より/西村代議員(自治労) 吉田代議員(自治労) 江口代議員(自治労)

(寄せられた質疑・ご意見)
・地方財政の充実・強化に向けた取り組みを実施してほしい
・自治体非正規労働者の処遇改善に向けた取り組みの実施を進めてほしい
・労働分野での規制緩和に反対する取り組みについて、大衆行動で地方からの声をアピールしてほしい
・「労働者代表制」導入により中小零細・地場組合で起こりうる問題への懸念と対応について
・女性参画に向けて、本大会での女性参加人数・率を発表してほしい

「連合鳥取第3次男女平等参画推進計画」決まる

「様々な生き方が実現できる平等な社会」をめざし、連合鳥取は「連合鳥取第2次男女平等参画推進計画(2006年11月~2012年10月)」を基本に各種取り組みを行ってきました。この計画の期間満了にあたり、これまでの取り組みの成果と課題を踏まえ、社会の変化や新たな課題にも対応すべく第3次計画を策定し、定期大会で確認しました。構成組織の総力をあげ、さらなる男女平等参画の推進をはかっていきましょう!

◇運動の目標
「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、連合鳥取として **3つの目標** を掲げ、それぞれの分野の課題に取り組む。
①働きがいのある人間らしい仕事(ディーセント・ワーク)の実現と女性の活躍の促進
②仕事と生活の調和
③多様な仲間の結集と労働運動の活性化
※詳しくは連合鳥取ホームページをご参照ください。

連合鳥取HP <http://www.rengo-tottori.net> 連合鳥取 検索



挙手で議案を承認

大会宣言

提案する
吉田女性委員長

いま、わが国では社会の持続可能性が脅かされている。いわゆる「アベノミクス」の恩恵はごく一部にとどまり、働く者や生活者の雇用、暮らしは一向に改善していない。非正規労働者が雇用労働者の4割近くにも達し、年収200万円以下で働く労働者が1,100万人を超えている。多くの若者が、不安定で「使い捨て」の雇用を強いられ、将来に展望が持てない。また、いったん職を失った労働者の再就職への道は非常に険しい。格差と貧困の問題は依然として深刻であり、社会は底割れしかかっている。

しかし、強大な勢力となった政府・与党は、働く者の暮らしの底上げをはかるどころか、規制緩和の名の下に傷んだ雇用をさらに劣化させている。社会保障制度の抜本改革は先送りされ、公共事業を優先する政策への回帰が始まっている。さらには、憲法の立憲主義と三大原則(平和主義、主権在民、基本的人権の尊重)を根底からゆるがす動きさえ出始めている。

また、東日本大震災を風化させず、復興・再生をなすに、日本全体の再生へとつながっていくことが最重要課題であり続けている。今なお29万人以上が避難生活を強いられ、新たに、福島第一原子力発電所の汚染水漏れ問題が浮上している。被災者の生活再建と被災地の復興・再生を引き続き全力で支え、ともに、福島で起きている問題への一刻も早い対策が不可欠である。

このような中、鳥取県の経済動向は持ち直しの動きがあると報じられているが、われわれ労働者には、その実感はなく雇用不安や生活不安は払拭できない状況にある。連合鳥取は、県内のすべての働く者を代表するローカルセンターとして、より一層、社会からの期待に応える必要がある。

わたしたちは、いまこそ、行動によって世論を喚起し、働く者の声を結集して前進しなければならない。働く者の雇用と生活の立て直しを政策のど真ん中に据え、「格差社会」からの脱却をはかることを求めて、立ち上がらなければならない。

加えて、組合員組織率を高め、働く者が公正に保護される基盤を集団的労使関係の構築を通じて拡大し、社会的波及力を強め仲間づくりに取り組むことが重要である。

わたしたちは、すべての働く者のために立ち上がり、社会の不条理に立ち向かい、「働くことを軸とする安心社会」の実現に全力で取り組むことを、大会の総意として確認した。掲げた方針を確実に実現するため、連合鳥取・構成組織・地域協議会が一丸となり、社会的なうねりをつくりだしていこう。

STOP・THE・格差社会! すべての働く者の連帯で「安心社会」を切り拓こう!

2013年11月22日
連合鳥取第21回定期大会

退任役員紹介

お世話になりました。

前副事務局長 岸本和彦(電機連合) [写真左]

前執行委員 井本寿弘(電力総連) [写真右]
〃 廣田一之(国公総連)
前会計監査 武井直志(国公総連)

2014-2015年度役員

役職	氏名	産別・委員会・地協名	備考
会長	五十嵐 美知義	UAゼンセン	専従
副会長	本川 博孝	自治労	
	小椋 昌美	JAM	
	佐貫 馨	JR連合	(新任)
事務局長	田中 穂	電力総連	専従
副事務局長	吉田 正	JAM	専従
	馬場 一憲	自治労	(新任) 専従
	山田 秀之	自治労	専従
	井上 準一	JR連合	専従
執行委員	弘 中 光 典	UAゼンセン	
	前田 厚彦	日教組	
	西川 真也	電機連合	
	小山 英明	JP労組	
	里田 齊昭	農団労	(新任)
	門脇 直人	電力総連	(新任)
	春木 正浩	紙パ連合	
	大西 甚	自動車総連	
	米村 徹	情報労連	
	中嶋 逸公	交通労連	
	矢田 仁志	私鉄総連	(新任)
	松崎 浩哉	運輸労連	

役職	氏名	産別・委員会・地協名	備考
執行委員	高見 裕喜	フード連合	
	楢原 昌宏	全水道	
	三浦 一孝	国税労組	
	南場 潔	国公総連	(新任)
		青年委員会	青年代表
		女性委員会	女性代表
		東部地域協議会	地協代表
		中部地域協議会	地協代表
		西部地域協議会	地協代表
会計監査	濱崎 耕次	情報労連	(新任)
	山内 秀将	全水道	(新任)
	森上 章	全労金	